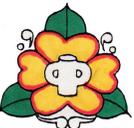


校訓
強く
正しく
和やかに



椿町中通信

10月号②
令和5年10月12日(木) 第13号



スローガン
笑顔と
元気の
椿町中学校

●キャリアパスポート「9月の振り返り」

自分自身の目標				
取組内容の自己評価				
9月	A	B	C	D
	30.0%	40.0%	20.0%	10.0%
	できた 70.0%		できなかった 30.0%	
対人関係の目標				
取組内容の自己評価				
9月	A	B	C	D
	70.0%	30.0%	0.0%	0.0%
	できた 100.0%		できなかった 0.0%	

【キャリアパスポートの目標・取組内容の自己評価 結果まとめ】

久しぶりのキャリアパスポートの振り返りです。本校の生徒の特徴が出ています。自分には厳しくできないが、人には優しくできる生徒が多い。特に9月は「椿・椿泊町合同運動会」があり、保育園児や小学生と交流でき、地域の方々に見てもらえたと思った生徒が多かったからかもしれません。自分自身（私のこと）もそうですが、自分に甘くなる…。自分で考えた目標を立てて達成する方策も考えて教室に掲示もしています。まずは意識すること。そして続けること。「まあいっか」と思ってしまうと引きずらないようにすることが大事だと思います。しかし、自分のことが続かないのはなぜでしょう？

●キャリアパスポート「10月の目標」

生徒たちの10月の目標設定です。10月中旬になりましたが、生徒の皆さんは目標と取組内容を意識した生活ができていますか？

	自分自身の目標について		対人関係の目標について	
	目標	取組内容	目標	取組内容
A	宿題とは別に平日は1時間半、休日は2時間以上勉強する。	平日は家に帰ってから1時間以内、休日は午前10時までに取組み始める。	家の手伝いをする。	休日は掃除機をかける。
B	つば中祭を成功させる。	みんなの意見を聞き入れ、3年生が満足できる計画をつくる。	家の手伝いをする。	1日2回以上は手伝いをする。
C	睡眠時間を増やす。	起きる・寝る時間を決め、その時間にふとんに入れるように動く。	できないことを断って、できることを引き受ける。	誰にでも自分の意見がはっきり言えるようにこころざす。
D	規則正しい生活をする。	11時までに寝る。	あいさつをする。	毎日5人以上にあいさつする。
E	文化祭を頑張る。	毎日少しずつ準備を進める。	家の人にあいさつをする。	毎日「おはよう」を言う。
F	早起きをする。	夜10時までには寝る。	あいさつをする。	10人以上にあいさつをする。
G	宿題を毎日提出する。	家に帰ってすぐにする。	会った人に必ずあいさつする。	気付いたらあいさつすることを意識する。
H	駅伝や文化祭などに向けて頑張る。	こつこつ練習する。	文化祭などでたくさん人が来てもしっかりあいさつする。	会った人全員にあいさつできるような心がける。
I	部活動で試合の敗因を生かして取り組む。	毎日真剣に行う。	文化祭を成功させる。	練習を一生懸命頑張る。
J	文化祭までにリコーダーを覚える。	しっかり練習する。	オープンスクールで小学生と話す。	積極的に自分から話しかける。

●南部Bブロック新人卓球大会

9月30日(土)、南部Bブロック新人卓球大会が行われました。本校の生徒は個人戦のみの出場となりました。1・2年生だけでは、男女とも団体戦ができる人数に達しないからです。これは、本校に限ったことではなく、今回の大会は女子の団体戦出場校が少なかったです。部活動に関しては、部員数が減っていたり、地域移行化への過渡期だったりするなど、いろいろなことを考えていく必要があります。中学校段階で部活動などを通して自分がやりたいことに打ち込むことは、生徒の成長を考える上でとても重要なことです。

さて、試合の結果ですが、1年生女子が学年別個人戦で3位になりました。この生徒は夏の県大会でも学年別の個人戦で準優勝しているので、勝ち方がだんだんと分かってきていると思います。慌てることなく落ち着いて淡々とプレーができる生徒です。日頃の学校生活も同じように過ごしています。

卓球だけでなくどの種目もそうですが、スポーツは技術・戦術・メンタルが大きな要素であり、試合ではメンタルが技術・戦術を支えていると考えます。そして卓球の試合には日頃の生活が出ます。メンタルが重要なのだとあらためて思いました。閉会式の講評では、「自分のメンタルは自分の内なる言葉でつくっていくことができる」という話をしました。

卓球はミスの少ない方が勝つ競技です。ミスしたときに、ミスが続くときに、どう自分の気持ちをつくっていくのか、自分で自分の心にどんな言葉を投げかけるのか……。悪く言えば、自分の心をいいようにだます。自分の心は自分でつくっていく。というか、自分でしか変えられない。そんなことを思った1日になりました。



●おいしんぼ大会

前期終業の10月5日、本校の伝統行事である「おいしんぼ大会」を行いました。昔は海の幸山の幸とさざりだったという話も聞きますが、昨年今年と生徒が考え自分たちで準備できるもので行っています。

火起こし器を使って火をおこすところから始めます。これがなかなか大変です。

まあメニュー的には一般のバーベキューですが、教職員・生徒で前期の締めとして楽しいひとときが過ごせたようです。(残念ながら私は不在でした・・・)



●後期始業式

10月10日(火)が後期の始業式でした。始業式の話で、ラグビー日本代表の敗戦の話をしました。「笑わない男」として有名な稲垣啓太選手のアルゼンチン戦後の談話を紹介しました。

「相手にどうプレッシャーをかけるかがこの試合のテーマだった」「ただ自分たちがやってきたことは間違っていない」「自分たちがやってきた準備が足りなかったとは思っていないけど、届かなかったのが率直な印象」

イングランド戦、アルゼンチン戦と負けた試合を見ていると試合の終盤まではセット試合ができていても、後半に足りない部分(相手へのプレッシャー)が出て点を離されてしまいました。2試合ともよく似た形での敗戦でした。

「4年間の準備が間違っていたとは思っていない。80分間を通して、準備してきたものを出すのがいかに難しいか」

テーマ(目標)をもって精一杯努力をし続けても、成功するとは限らない。でも本気で目指さないと行きたい場所に到達することはできない。前回のワールドカップ以上の結果を残すという目標は達成できなかったけれど、自分たちのしてきたことは間違いではなく、今後につながる。

こういうことを実体験として学んでほしいと思います。結果は大切だけど、過程が本当に重要で大事です。過程を大切にしていけることを知ることが、キャリアパスポートの目標設定と振り返りの意義だと考えています。

